

欧州を席卷する清澄なる歌姫、深く琴線にふれるリュートの調べ

Early Music Series  
古楽の愉しみ

# レア・トーマス・ デザンドレ & ダンフォード

メゾ・ソプラノ

リュート

## デュオ・リサイタル

芸文センター初登場!

(ドイツ/オーパス・クラシックス2022)

### 年間最優秀女性歌手に選出!



©Leifroth Perrin



©Julien Benhamou

*Laissez durer la nuit* “夜が続くにまかせ”

～オール・フレンチ・プログラム～

セバスティアン・ル・カミュ: 夜が続くにまかせましょう、寂しく暗い森

Sébastien Le Camus : Laissez durer la nuit, Forêts solitaires

マルク=アントン・シャルパンティエ: この木陰なら誰も来ないから

Marc-Antoine Charpentier : Sans frayeur dans ce bois

ミシェル・ランベール: 恋したあの人の亡霊は

Michel Lambert : Ombre de mon amant

ロベール・ドゥ・ヴィゼ: プレリュードとサラバンド ニ短調 (リュート・ソロ) ほか

Robert de Visée : Prélude et Sarabande en ré mineur

※本公演は休憩がございません。公演時間: 70分(予定)

2023. **9/23** (土・祝) 2:00PM開演(1:30PM開場)  
A ¥5,000 B ¥4,000 (税込/全席指定)

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

一般発売

4/9  
(日)

芸術文化センター  
チケットオフィス

☎ 0798-68-0255

(10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

インターネット予約

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

※窓口での販売(残席がある場合)は4/11(火)より

芸術文化センター会員  
先行予約受付開始

4/7(金)

※未就学児はご入場いただけません。  
※やむを得ない事情により、曲目等が  
変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。



兵庫県立  
芸術文化センター



主催: 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



Laissez durer la nuit “夜が続くにまかせ”  
～オール・フレンチ・プログラム～

圧倒的な表現力で、  
私たちが別次元へと誘う『歌絵巻』

ミシェル・ランベール：彼女は羊飼いで、優しく一途

Michel Lambert : Ma bergère est tendre et fidèle

ロベール・ドゥ・ヴィゼ：ガヴォットニ短調 ◆

Robert de Visée : Gavotte en ré mineur

マルク=アントン・シャルパンティエ：ぼくを苦しめるだけの女性に

Marc-Antoine Charpentier : Celle qui fait tout mon tourment

セバスティアン・ル・カミュ：何も聞こえないよ、この木立に来れば

Sébastien Le Camus : On n'entend rien dans ce bocage

マラン・マレイ：人間の声 ◆

Marin Marais : Les Voix Humaines

カミュ：夜が続くにまかせましょう

Sébastien Le Camus : Laissez durer la nuit

ヴィゼ：シャコンヌニ短調 ◆

Robert de Visée : Chaconne en ré mineur

オノレ・ダンブリュイ：わたしたちを優しく包む、木立の静けさ

Honoré d'Ambrus : Le doux silence de nos bois

ヴィゼ：プレリュードとサラバンドニ短調 ◆

Robert de Visée : Prélude et Sarabande en ré mineur

カミュ：寂しく暗い森

Sébastien Le Camus : Forêts solitaires

シャルパンティエ：暖炉のそばで、恋の営みを

Marc-Antoine Charpentier : Auprès du feu on fait l'amour

ヴィゼ：アルマンド“王室” ◆

Robert de Visée : Allemande “La Royale”

シャルパンティエ：陰惨な荒地から荒地へ、暗い気持ちで野に下る

Marc-Antoine Charpentier : Tristes désert, sombre retraite

ミシェル・ランベール：毎日、あなたから蔑まれていれば

Michel Lambert : Vos mépris chaque jour

ヴィゼ：“ラ・マスカレード(仮面舞踏会)” ◆

Robert de Visée : Rondeau “La mascarade”

ランベール：恋したあの人の亡霊は

Michel Lambert : Ombre de mon amant

シャルパンティエ：この木陰なら誰も来ないから

Marc-Antoine Charpentier : Sans frayeur dans ce bois

〔◆リュート・ソロ〕

※本公演は休憩がありません。公演時間：70分(予定)

レア・デザンドレ | メゾ・ソプラノ |  
LEA DESANDRE, Mezzo Soprano

©Julien Benhamou

トーマス・ダンフォード | リュート |  
THOMAS DUNFORD, Lute

幼少より12年間バレエ・ダンサーの訓練を受ける。声楽はヴェニスでサラ・ミンガルドに師事。20歳で、ウィリアム・クリスティが創設したプロジェクト、“ジャルダン・デ・ヴォワ”に選ばれる。2017年、フランスのヴィクトワール音楽賞、HSBC賞、2018年、フランス・メディアからヤング・ソリスト賞など受賞。オフエンバックの「ペリコール」でザルツブルグ音楽祭にデビュー。その夏、「ポッペアの戴冠」(クリスティ指揮)、2019年にはカルダラのオラトリオ「アーベルの死」、バルトリとのガラ・コンサート、ザルツブルグ音楽祭100周年にあたる2020年、「コジ・ファン・トゥッテ」(マルヴィッツ指揮、ウィーン・フィル)にデスピーナ役で出演、その模様はNHKで放映、エラートからDVDも発売。2021年以降は、パリ・オペラ座(ガルニエ宮/ドゥダメル指揮)、バルセロナ・リセウ大劇場(ミンコフスキ指揮)、チューリッヒ歌劇場(モンタネーリ指揮)など「フィガロの結婚」のクルビーノ役で全35公演に出演。ヨーロッパ著名オペラハウスやコンサートホールで活躍中。リサイタルとしてリュート奏者のトーマス・ダンフォードと、また彼のアンサンブル・ジュピテールとも定期的に出演。2021年秋、ソロ・アルバム、“アマゾヌ”がエラートよりリリース。

「リュート界のエリック・クラプトン」(BBCミュージックマガジン)と評された古楽界注目のリュート奏者。フランス・パリ生まれ。9歳からクレア・アントニーニの下でリュートを始め、パリ国立音楽院で学ぶ。2006年、シャルル=エドゥアール・ファンタンのクラスで最優秀賞を獲得。その後、バーゼルのスコラ・カトルムに進学。リュート奏者ホプキンソン・スミスに師事し、多くのコンクールで優勝。フランス古楽界の大御所ガンバ奏者ジョナサン・ダンフォードを父に持つ。ソリストとしてニューヨークのカーネギー・ホールやロンドンのウイグモア・ホールをはじめ世界各国で演奏するほか室内楽やオーケストラの共演者としても活動している。クリスティ指揮レザール・フロリサン、ヘレヴェッヘ指揮コレギウム・ヴォカレ・ゲントなど数多くの古楽名門オケと共演。近年は自身が主宰するアンサンブル、ジュピテールの活動が脚光を浴びている。通奏低音にはジャン・ロンドーが参加するほか、メゾ・ソプラノのレア・デザンドレが頻繁にゲストとして招かれ、グループとしての評価もすこぶる高い。レア・デザンドレとのデュオは、二人の重要なライフワークである。

《チケットご購入のお客様へお願い》新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします

※芸術文化センターでのご購入は、お一人様4枚までとさせていただきます。

※新型コロナウイルス感染症陽性の方、37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。

※マスクを着用されない方はご入場いただけません。

※やむを得ない事情により、公演の中止や、出演者・曲目などが変更となる場合があります。

あらかじめご了承ください。

感染予防対策は、今後の状況により変更する可能性があります。  
最新の状況はウェブサイトをご確認いただけますようお願いいたします。→



アクセス

